

1. 宮治研 抄録 L^AT_EX スタイルパッケージの使い方

基本的に論文のスタイルパッケージと同様に作業をすれば良い。たとえば、`main.tex` ファイルに必要事項を記載し、適切なファイルを取り込むように指定し、バッチコマンドを利用すれば、PDF ファイルができ上がる。

なお、抄録を記述する際注意事項として、スタイルパッケージの利用方法以外については次節にて解説する。

1.1. サブタイトル有りの場合

配布したファイルは、サブタイトルがある場合のサンプルになっている。まず、年度／学籍番号／氏名、タイトル、サブタイトルを所定の命令内に記入する。

```
\nendo{2019 年度}  
\snum{15387019}  
\jname{宮治 裕}  
\thesistitle{宮治研における論文作成について}  
\thesissubtitle{\LaTeX の利用}
```

次に `\SUBTtrue` は命令の先頭に `%` がつかない状態に、`\SUBTfalse` は命令の先頭に `%` がつく状態にする。`%` が付いているのは、コメントアウト状態であり、コンパイル処理されないことを示す。

```
\SUBTtrue  
%\SUBTfalse
```

1.2. サブタイトル無しの場合

サブタイトル有りの場合と比較して 3 箇所の変更が必要である。

1. サブタイトルを記入する命令の先頭部分に `%` 記号を入れ、コメントアウト状態にする
2. `\SUBTtrue` の前に `%` 記号を入れ、コメントアウト状態にする
3. コメントアウト状態の `\SUBTfalse` の直前の `%` 記号を削除する

以上の変更を行った設定を示す。

```
%\thesissubtitle{ }  
%\SUBTtrue  
\SUBTfalse
```